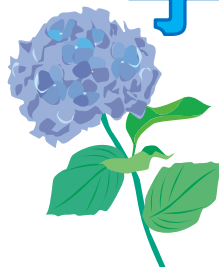


学生相談室だより

2009年6月号



特集1：新入生アンケート

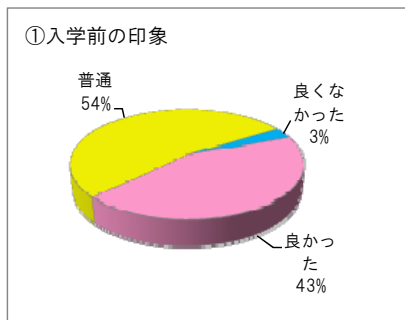
「岡山大学の印象は？」

新入生を対象に岡山大学の印象について調査しました。(回答数 434 名)

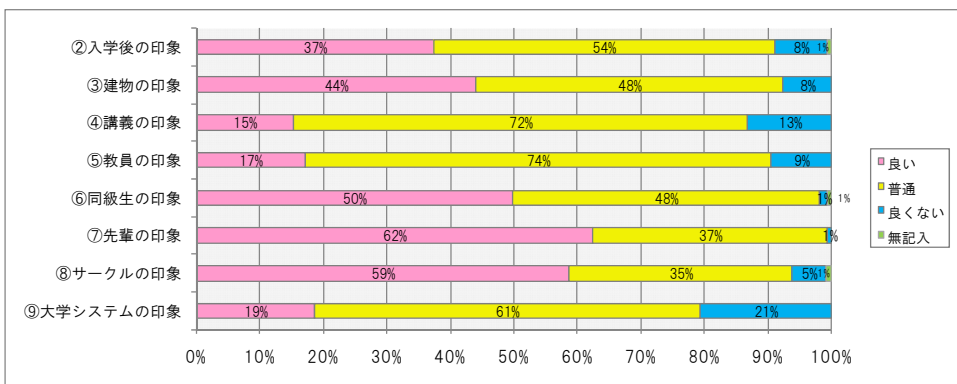
■ 入学前のイメージ

□ 良かった理由

- ・ 研究設備が充実していたから。
- ・ 総合大学だし特殊な実習もあるから。
- ・ 岡大生の人の話を聞いて良かったから。
- ・ 大学説明会に来ていただいた先生の話聞いて。
- ・ みんなまじめに勉強していると思ったから。
- ・ オープンキャンパスに参加した時、質問に丁寧に答えて頂いたから。



■ 入学後のイメージ



□ 項目ごとの理由

- **入学後のイメージ**：キャンパスが広く過ごしやすい。活気がある。講義中うるさい。
- **建物**：綺麗。大きい。清潔。古い建物との差が激しい。学習スペースが良い。歴史を感じる。

- **講義**：わかりやすい。先生によって差がある。授業以外の話も勉強になる。高校の時より難しい。
- **教員**：個性豊かな印象。優しく。まじめ。対応が親身ではない。理不尽。いろいろな先生がいる。
- **同級生**：明るい人が多い。普通の人が多い。授業中に携帯を使ったりうるさい人がある。
- **先輩**：優しい。威張っていない。親切。フレンドリー。話の幅が広い。しっかりしている人が多い。
- **サークル活動**：楽しいし、充実している。活動的。学問系のサークルが少ない。勧誘が激しい。
- **システム**：パソコンで出来るので便利。パソコン操作の説明不足。ややこしいがきちんとしている。掲示版が分かりにくい。自宅からも登録できるようにしてほしい。

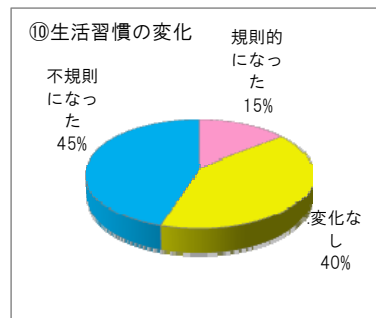
■ 入学後の生活習慣の変化

□ 規則的になった理由

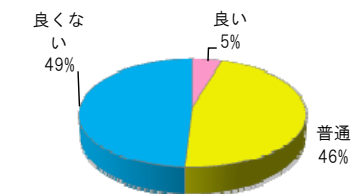
- ・ 自立の心が出来て、親がいる時より規則的になった。
- ・ 自己管理ができるようになった。・早起きするようになった。

□ 不規則になった理由

- ・ 1人暮らしでだらだらしてしまうから。・夜更かしするから。
- ・ 空きコマがあるから。・朝ご飯を食べなくなったから。
- ・ 毎日時間割が違うから。・部活が遅くまであるから。
- ・ . . . など。



⑪自転車マナー



■ 学生の自転車マナー

□ 良くない理由

- ・ 携帯を使用しながら運転している人がある。
- ・ 信号無視が多い。・傘さし運転。・譲り合いのなさ。
- ・ 2列や3列で走る人達がいる。・入口付近に駐輪
- ・ 指定場所以外の駐輪がひどすぎる。
- ・ 岡山の人の自転車は遅すぎる。
- ・ 注意されても直っていない。 . . . など。

■ アンケート調査を終えて . . .

この調査は毎年新入生に実施しており、今年は去年に比べて『建物の印象』に“良い”と回答した人が30%以上も増加しました。改修が行われた一般教育棟の教室やトイレの綺麗さや、設備の良さが影響しているようです。逆に『入学後の印象』と『教員の印象』に“良い”と回答した人が10%以上減少しました。これは去年よりも調査実施の時期が1ヶ月ほど遅くなったため、「授業に慣れて受講態度の悪い学生が目につくようになった事」や、「いろいろな教員がいる事が分かってきた」ためのようです。なお今年も去年と同じく、全項目の中で“良い”に回答した割合が最も高かったのは『先輩の印象』でした。来年の新入生にも先輩の印象が良いと思ってもらえるといいですね。

最後にアンケートにご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

■ 特集2：「学生相談協力委員」

学生相談協力委員とは、皆さんの様々な相談にのってくださる先生のことです。

文学部・堀内 孝先生のご紹介

★ 自己紹介をお願いします！



堀内 孝（ほりうち たかし）といいます。肩書きは大学院社会文化科学研究科（文学部）准教授で、専門は心理学です。大阪生まれ京都育ちの男子です。

岡山大学には平成16年10月に異動したので、今年で5年目になります。岡山での生活もようやく地に足がついてきた感じがします。前任校は岐阜の女子大学でした。名古屋市内にマンションを借りていたので、片道1時間半をかけて車で通勤していました。車が好きなので通勤時間は苦にはならなかったのですが、大学が長良川近郊の豪雪地帯にあったので、自然災害も多く、台風や大雪が降ったときには難儀しました。名古屋への帰路で冠水のために車が危うく水没しそうになったこともあります。岡山では大学の近隣に居を構えましたので、農学部の農園と花壇の横を通り、半田山の木々を眺めながらのんびりと徒歩で通勤しています。

★ 学生時代の失敗談や面白エピソードを教えてください！

大学の学部生時代から旅行が好きだったのですが、大学院の修士課程に進学した年の夏休みに、語学研修のためにサンフランシスコに2ヶ月ほど滞在し、カルフォルニア大学バークレイ校のそばの語学スクールに通いました。ご存知のようにUCバークレイは数多くのノーベル賞受賞者を輩出しており、心理学においてもきわめて評価の高い大学です。また、バークレイはヒッピー運動の発祥の地でもあります。その自由で進歩的な雰囲気は街の至るところで散見され、温暖な気候も含め、将来はこの大学で研究したいと思いました。研修期間中はシスコのケーブルカーと競争したり、ピープルズ・パークのデモを見物に行ったり、ゴールデンゲートブリッジを歩いて渡ったり、その他もろもろの青春を謳歌しました。帰国の途で関西国際空港に到着した際、人々の髪の毛の色が一様に黒色であることに、強い違和感を覚えたことを記憶しています。

ちなみに、語学研修での失敗談ですが、最初に習熟度別にクラス分けするための筆記試験があったのですが、大学入試の技術を駆使して解答してしまい、最も水準の高いクラスに分類され、泣きそうな思いをしました。これから留学を予定されている方々の参考になれば幸いです。



★ 学生時代に悩んだことはどんなことでしたか？またその解決方法は？

悩みや疑問は多かったと思います。友人関係、恋愛、進路から独我論に至るまで、悩みと疑問にまみれていた気がします。今から思い起こすと、思い悩んでいる自分に酔っていたのかも知れません。夜遊びに出かけたり、車を飛ばして海を見に行ったり、サンドバッグをたたいて気を紛らわせた時期もありましたが、結局のところ、悩んでいても何も始まらないということに気づいてから大きく変わった気がします。いくら問題から

目をそらし気分転換をしたところで、現実に戻れば問題は何も解消されていないのです。本当に問題を解決したいのであれば考えなきゃだめだと思いました。そのためには正しく考えることを考える必要があると考えました。無論、考えることの限界について知っていることも重要です。近年、心理学の世界では認知カウンセリングや認知行動療法が盛んですが、その基本的なエッセンスを経験的に実践していた感があります。

★ 今、一番ハマっていることは何ですか？

若いころは「知性」＝「脳」と単純に考えていたのですが、最近は学問的にも生活的にも「身体」の重要性を痛感しています。不惑を過ぎた体を鍛え直すために、運動公園や岡山城、近郊の山道を走っているのですが、車やバイクでは得られない街の匂いや温度感、人の雰囲気など、結構、新鮮な発見があって楽しいです。個人的に興味深かったのは、今までは避けて通るのが当たり前と感じていたひざ丈の鉄柵が、いつの間にか飛び越えて通る対象へと「見え」が変化していたことです。久しぶりに訪ねた小学校の運動場を「狭い」と感じる感覚に似ています。



★ 学生時代に「しておけば良かった・・・」と後悔していることは？

遣り残し感はありません。学生時代にできなかったことの多くはこれからいくらでもできると思いますし、しなかったことはこれからはしない気がします。人生の選択肢判断に関しては、現在とは別の人生の展開を想像することはありますが、子供ができてからは、後悔することは無くなった気がします。子供は己の生を必然だと信じていますし、親としてはその信念を保障する義務があると考えています。最近、昔話をせがまれることも多く、自分の半生を現在に至る物語として語っていることも影響しているのかもしれませんが。今の自分のまま20歳の若さに戻れるというSF的な想定であれば、してみたいことはいっぱいありますが・・・。

★ 岡山大学生に一言！お願いします！

大学時代に「コレ」と言えるものに取り組むことをお勧めします。勉強、クラブ活動、恋愛、就職への準備、その他何でもよいと思います。何を選択するかよりも、うまくできたかどうかよりも、どれだけ頑張ったと思えるかが、大学生活の満足度と、後の人生の勢いにつながると思います。

堀内先生、ありがとうございました！

学生相談室

- ◆ 場所：一般教育棟 C棟1階
- ◆ 時間：10:00～12:00／13:00～17:00(月～金)
- ◆ TEL:086-251-7169(受付)
:086-251-7184/8458(カウンセラー直通)
- ◆ メール：nayami@cc.okayama-u.ac.jp
- ◆ HP：<http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/soudan/index.html>